

(注) 本月報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ベナン月報(2018年3月)

主な出来事

【内政】

- 24日、セメ・ポジ市ジェファにおいて、2016年大統領選挙、第1回目投票で3位となったアジャボン氏が、現政権に異論を唱える新政党「Union Sociale Libérale」を立ち上げた。

【外政】

- 5日、パリにおいて、タロン大統領は仏のマクロン大統領と会談した。マクロン大統領は、タロン大統領の推し進める「政府行動計画」を支持し、対ベナン支援策を発表した。

【経済】

- 20日、アバンニズンにおいて、トッフオ・ラロ・アバンニズン・アボメ・ジジャを結ぶ主要道路の舗装工事立ち上げ式が行われた。総距離100Km 超、総額983.65億 FCFA となっている。
- 30日、IMF の調査団一行はベナンでの滞在を終え、2017年の最終四半期の経済状況は、5.6%の経済成長率で、食料品及び石油の価格高騰によるインフレであるとし、19～22年の中期期間では、民間投資が拡大し、6%を超える成長率となるであろうとの見方を発表した。

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'économiste 紙、La Nouvelle Tribune 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 2日、アボメカラビ大学において、2017年に発布された、学生手当の基準及び学生組織と政府の協力関係に関する2つの政令に対し、FNEB等3つの学生組織がデモを行った。警察は催涙弾を発砲し鎮圧を試みた。これにより、FNEBの代表はじめ複数の学生が逮捕された。(5日、La Nation 紙)
- ・ 5日、アボメカラビ大学において、300名の学生デモ隊が授業中の大教室に乱入し、授業を妨害した。警察が介入したがデモ隊はバリケードを築く等して抵抗した。このデモで200名以上が負傷し、1名が重体となった。(6日、La Nation 紙)
- ・ 2日及び5日にアボメカラビ大学で起きた学生組織のデモで37名の学生が暴行又は器物損壊の容疑で逮捕された。逮捕された学生達の弁護士は、収容人数10名の留置施設に37名を押し込んだとして、留置環境の改善を求めている。(7日、La Nation 紙)
- ・ 5日、モノ県知事、警察、軍が合同で、海岸沿いに不法に建てられた建築物の撤去作業

- を開始した。不法建築物は犯罪者の隠れ家に利用されていた。(7日, Le Matinal 紙)
- 9日, 政治グループのFSP, 労働組合及び市民がタロン政権に対するデモ行進を行った。警官隊に進路を変更するよう指示されたことに憤慨したデモ隊の一部が警官に暴力を振るったことで双方もみ合いになった。(12日, La Nation 紙)
 - 13日より医療分野の公務員は, 2月に政府が発表した, 公務員のストライキ実施により給与削減方針を発表したことに対し, 支払いを求めるよう72時間のストライキを実施することを発表した。(12日, L'Événement Précis 紙)
 - 21日, 憲法裁判所は, ウンベジ国民議会議長に対し, 恒久電子化選挙人名簿指導監督評議会(Cos-Lepi)の評議会委員が未だ選出されていないことは憲法違反であるとし, 直ちに対応するよう通達した。(21日, La Nouvelle Tribune 紙)
 - 24日, セメ・ポジ市ジェファ(Djèffa)において, 2016年大統領選挙, 第1回目投票で3位となったアジャボン(M. Sébastien AJAVON)氏が, 現政権に異論を唱える新政党「Union Sociale Libérale」を立ち上げた。(26日, La Nation 紙)

【外政】

- 5日, パリにおいて, タロン大統領は仏のマクロン大統領と会談した。マクロン大統領は, タロン大統領の推し進める「政府行動計画」を支持し, 対ベナン支援策を発表した。その内容は, アボメカラビ病院建設に対する, 仏投資銀行(BPI)による融資(1.75億ユーロ), 対気候変動対策として, コトヌ他3都市における持続的な都市計画(5,800万ユーロ), ベナン観光資源に対する支援(4,300万ユーロ), 国際大学都市構想(CIIS)「セメ・シティ」に対する仏高等教育機関の提携及びベナンの文化財の返還についてといったものである。(6日, Le Matinal 紙)

【治安】

- 2月27日, コトヌ沖合において, 停泊していたルクセンブルク船籍「セント・マルセイユ」号が海賊に襲われた。5人の海賊がベナン人監視人2名に発砲し負傷させた。船内には積荷は無く海賊は逃走した。(1日, L'économiste 紙)
- 1日, マランヴィル(当館注:ベナン最北部ニジェール国境の都市)の国際市場において, 火災が発生し, 2人が重傷を負った。他にも冷蔵庫など家電が焼失する被害があった。(6日, Le Matin Libre 紙)
- 2日, コトヌ市ゲゾ駐屯地の工兵部隊第一大隊一等兵が, 市民から90,500FCFA相当の携帯電話を強奪した容疑で逮捕された。(7日, Le Matin Libre 紙)
- 6日, ボイコン(Bohicon)市ウアサホ(Ouassaho)地区ズンゾンサ(Zounzonsa)において, 15歳前後と見られる男性が, ペットとして飼っているライオンの檻を掃除していたところ, ライオンに噛み殺された。(7日, La Nation 紙)
- 5日, パウ(Pahou)地区の呪術師宅の汚水溜から, 2月15日から行方不明となっていた19歳と23歳の遺体が発見された。この事件に関し8人が逮捕された。(7日,

L' Evénement Précis 紙)

- ・ 7日、アボメカラビ大学構内において、車両がバイクを追い越そうとした際、サイドミラーがバイクのハンドルに触れた影響で、転倒し24歳の男子学生が死亡した。(8日、L' Evénement Précis 紙)
- ・ 10日、バニコアラ市グモリにおいて、密猟者と森林警察の間で銃撃戦があり、警察官1名と密猟者1名が死亡した。(13日、Le Matinal 紙)
- ・ 12日、アボメ市ベコン(Gbècon)において、小学校教師の男性が妻殺害の容疑で逮捕された。男性は妻の首を切って血液を採取していた。採取した血液の用途は不明である。(13日、Le Matinal 紙)
- ・ 16日、セイドウ(M. Alassane SEIDOU)保健大臣は、2014年来の第四次ラッサ熱流行が収束した旨発表した。(19日、Le Matinal 紙)
- ・ 22日、ジジャ(Djidja)市アボストゴン(Agbonoutogon)村でコメを積んだトラックとタクシーが衝突する事故があった。その影響でトラックより出火し、同乗していた4人が死亡した。(23日、Le Matinal 紙)
- ・ 26日、バニコアラにおいて、17人が中毒で搬送された。殺虫剤の側に保存して置いたインゲン豆を消費したことが原因とみられている。(27日、Le Matin Libre 紙)
- ・ 26日、ジャコトメ(Djakotomey)市において、精神障害の女性が3人の子供を深さ10メートルの井戸に投げ入れ、自身も投身自殺した。2人の子供は死亡し、2歳の男児は近所の人々に助けられた。(27日、Le Matinal 紙)

【経済】

- ・ 2月22日及び23日、イスタンブールにおいて、第一回トルコ・ECOWAS(西アフリカ諸国経済共同体)15か国経済フォーラムが開催された。アイス(M. Serge AHISSOU)産業・商業大臣率いる代表団が参加した。トルコ側は、ベナンに様々な品目の加工・生産工場を導入することを決定した。(7日、L' économiste 紙)
- ・ 13日、小西大使とンダー・セク・ベナン国家消防隊隊長は同消防隊へ供与される救急車に関する署名式を執り行った。オル・バロ内務・治安省官房長が出席した。(14日、La Nation 紙)
- ・ 14日、閣議において、不正薬品流通問題を受け、国家薬剤師団体の機能を6か月間停止することが決定された。(15日、La Nation 紙)
- ・ 17日、中国企業ファーウェイ・テクノロジーは「未来の通信技術エリートへのファーウェイキャンパスで採用」の第二回プロジェクトの立ち上げ式が行われた。(19日、La Nation 紙)
- ・ 16日、アドベランデ(M. Simon-Pierre ADOVELANDE)駐中ベナン大使は、タロン政権の「政府行動計画(PAG)」の認知を広げることで、中ベ二国間関係を強化した功績により、中外新聞社の「2017年新たな重要人物」に選出された。(19日、Le Matinal)
- ・ 19日、アジャラ市アジャチ(Adjati)において、テボイジレ(M. Albert TEVOEDJRE)教授に

- より宗教間・文化間対話を促進する「平和のアフリカの家」の開所式が行われた。(20日, La Nation 紙)
- ・ 20日, アバンニズン(Agbangnizoun)において, トッフオ・ラロ・アバンニズン・アボメ・ジジャを結ぶ主要道路の舗装工事立ち上げ式が行われた。総距離100Km 超, 総額983.65億 FCFA にのぼる。施工業者は, レバノン系の Nicolas Sroudji Etablissement Côte d'Ivoire, コンサルタントは, ルクセンブルク籍の TR Engineering/Heros GC である。コティ(M. Cyr KOTY)インフラ・運輸大臣, ジョベヌ(M. Joseph DJOGBENOU)法務大臣, ヌアティン(M. Fortunet NOUATIN)大統領付国防担当副大臣, ズー県知事及びアトランティック県知事らが出席した。(21日, La Nation 紙)
 - ・ 21日, ダカールで開催された, 第108回西アフリカ開発銀行(BOAD)定期総会において, ベナンに対しコトヌ市排水計画に関する200億FCFAの借款が承認された。(23日, L' économiste 紙)
 - ・ 24日, カイシ(M.Oussama KAISSI)イスラム投資・輸出保険機関(ICIEC)取締役は, アタナソ(M. Marie-Odile ATTANASSO)経済・財務大臣代理を訪問し, タロン大統領の推し進める「政府行動計画(PAG)」への協力可能性について協議した。計画・開発大臣, インフラ・運輸大臣, エネルギー大臣, ベナン商工会議所会頭らが同席した。(26日, La Nation 紙)
 - ・ 23日, 大統領府において, セイドゥ保健大臣は, ベルナール(M.Emmanuel BERNARD)仏 Bouygues international 社開発局長とアボメカラビ市の病院建設に関わる協定に署名をした。当案件は, タロン大統領が5日に仏マクロン大統領と会談した際の成果で, 総額は1.75億ユーロである。(26日, L' économiste 紙)
 - ・ 28日, 閣議にて, パーム油, パイナップル, ミカン及び野菜農家に対し, 化学肥料である塩化カリウム(KCL)及び硫酸カリウム(K₂SO₄)の販売価格を半額にする旨が決定された。(27日, L' économiste 紙)
 - ・ 29日, 閣議にて, ベナンから欧州への蜂蜜の輸出が認可された旨発表があった。2月15日には欧州委員会でベナンからの肉及び肉加工製品が認可されている。(29日, La Nation 紙)
 - ・ 29日, ビアン(M. Tabe GBIAN)経済社会評議会は, ピン(M. Lin Wie Ping)中国・ベナン開発協会会長とベナン農業分野への投資について意見交換を交わした。(30日, La Nouvelle Tribune 紙)
 - ・ Quantum Global グループは, 2018年版アフリカ投資インデックスの中で, 投資の際最も魅力的な国ランキングにおいて, ベナンは昨年から2つ順位を落とした23位であった。評価基準は, 経済成長, リスク及びビジネス環境等である。(30日, L' économiste 紙)
 - ・ 30日, IMF(国際通貨基金)の調査団一行はベナンでの滞在を終え, 2017年の第四半期の経済状況は, 5.6%の経済成長率で, 食料品及び石油の価格高騰によるインフレであるとし, 19~22年の中期期間では, 民間投資が拡大し, 6%を超える成長率とな

るであろうとの見方を発表した。(4月3日, La Nation 紙)

【文化・その他】

- ・ 2日, 中国文化センターにおいて, 中国新年の犬年祝福祭から15日後, 動物をかたどったランタン祭りが開催された。(6日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 5日, アボメカラビ大学において, ズンジ(M. Gérard ZOUNDJI(当館注:同氏は在ベナン日本国大使館スタッフ))氏が「ベナン及びマリの持続可能な農業イノベーションのためのビデオ技術の活用」というテーマで博士論文発表を行い, 農学博士号を取得した。(7日, Le Matinal 紙)
- ・ 7日, 駐ベナン日本国大使館は, 今年4月に日本に出発する国費留学生4名に対し出発前のオリエンテーション及び元国費留学生との意見交換会を実施した。(9日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 9日, ハーグにおいて, 国際刑事裁判所の新裁判官6名による宣誓式が行われた。ベナン人のガンス(Mme. Reine Alapini GANSOU)女史はこれから9年の任期を勤める。他裁判官について日本からは赤根智子氏が選出された。(12日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 24日, コトヌ市芸術・余暇・スポーツホールにて柔道日本大使杯が開催された。ベナン柔道連盟の呼びかけで200人以上の柔道家が参加した。(26日, La Nation 紙)
- ・ 30日, ホメキ観光・文化・スポーツ大臣は, 2018年度補助金として, 29のスポーツ連盟に対し, 昨年度5, 100万 FCFA 増の5. 53億 FCFA を供与する旨発表した。空手は2, 200万 FCFA, 柔道は1, 600万 FCFA となっている。(4月3日, L'Événement Précis 紙)